



各 位

平成24年11月6日

会社名 KYCOMホールディングス株式会社

代表者 代表取締役社長
小林 勇 雄
(JASDAQ・コード9685)

問い合わせ先
管理部長
福 岡 誠
(TEL : 0776-34-3512)

平成25年3月期第2四半期累計期間(連結)業績予想の修正、並びに
平成25年3月期第2四半期累計期間(単独)業績見込との差異に関するお知らせ

平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の業績予想について、平成24年5月14日付
当社「平成24年3月期決算短信」にて発表いたしました平成25年3月期第2四半期累計期間(連結)業績
予想を下記のとおり修正いたします。

また、平成25年3月期第2四半期累計期間(単独)の業績見込みについて、前年同期と比較して差異が
生じることとなりましたので併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成25年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	1,650	60	60	40	円 銭 7 87
今回修正(B)	1,648	52	62	24	4 70
増減額(B-A)	2	8	2	16	- -
増減率	0.1%	13.3%	3.3%	40.0%	- -
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	1,512	23	28	14	2 79

(2) 修正理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の需要復興などを背景に緩やかな回復の動きがみられましたが、継続的な円高・株安、欧州の債務問題の再燃、中国や他の新興国の経済成長率の低下など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下で、事業の柱であるソフトウェア開発やコンピュータ関連サービス事業を中心に、また、クラウドコンピューティングサービス等のサービス形態の変化にも対応しつつグループ企業間の連携および提案営業の強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高、営業利益および経常利益は概ね当初の計画どおり達成する見込みであります。然しながら、四半期純利益につきましては株安の影響を受け、投資有価証券評価損を17百万円計上したことに伴い、計画を下回る見込みであります。

即ち、当第2四半期累計期間の業績は、売上高16億48百万円、営業利益52百万円、経常利益62百万円及び四半期純利益24百万円となる見込みであります。

2. 平成25年3月期第2四半期累計期間(単独)業績見込みと前年同期との差異

(1) 第2四半期累計期間 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前期実績(A)	50	3	12	8	円 銭 1 64
当期見込み(B)	52	-	-	29	5 81
増減額(B-A)	2	-	-	37	- -
増減率	4.0%	-	-	-	- -

(注) 上記の当期見込み(B)欄の営業利益(0.8百万円)及び経常利益(0.8百万円)につきましては、いずれも百万未満につき(-)線で表示しております。

(2) 差異の理由

当中間期は、連結納税に伴う子会社からの法人税個別帰属額の受入により法人税が減額されたため、中間純利益29百万円を計上する見込みであります。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表時現在の入手可能な情報に基づいた判断及び仮定を前提とした見通しであります。多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。